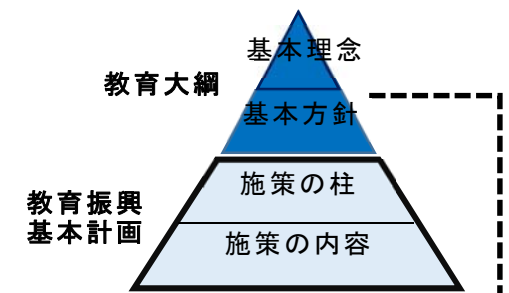


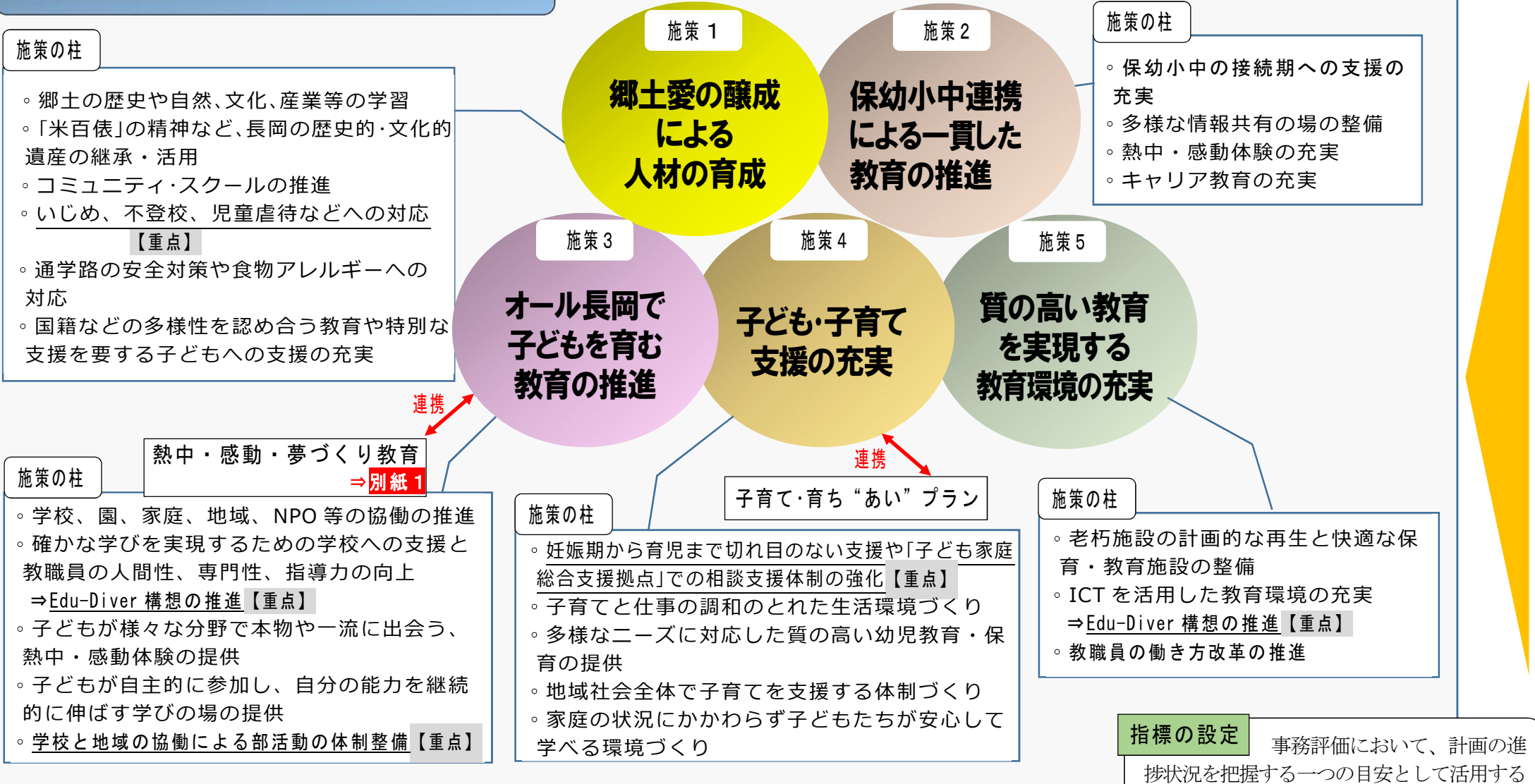
米百俵のまち長岡 長岡市教育振興基本計画の概要

長岡市教育振興基本計画の位置づけ

長岡市では、令和元年度に市長と教育長・教育委員が意見交換を重ね、教育行政を推進するための基本方針として長岡市教育大綱を策定しました。
 長岡市教育委員会では、この教育大綱の基本理念・基本方針を具体的に推進するため、乳幼児期から義務教育終了までの子育てを含む人づくりという観点から、5つの施策で構成する長岡市教育振興基本計画を策定します。 計画期間：令和3年度から令和7年度までの5年間



教育大綱を推進する5つの施策



長岡市教育大綱【基本理念】

子どもたち一人ひとりの個性が輝き、幸せを創り出していける教育の推進

【基本方針】

- 1 学校と家庭・地域が連携し、総ぐるみでふるさと長岡を愛する子どもを育てる
- 2 乳幼児期から義務教育終了までの子どもに対する教育に一貫して取り組み、一人ひとりを大切にしたい育ちを支援する
- 3 オール長岡で、子どものやる気や学ぶ意欲を高め、夢を描き志を立てて生き抜く子どもを育てる
- 4 子育て環境を充実させ、子どもや家庭に寄り添ったきめ細かな支援を推進する
- 5 子どもたちが安全・安心で質の高い教育が受けられる教育環境の整備に、タイムリーに取り組む

令和6年度に取り組む4つの重点項目

【施策1】 不登校支援の充実

不登校状態にある児童生徒の社会的自立や、学校における不登校の未然防止につなげるため、学校、関係機関と連携し、支援の充実を図る。

- 不登校児童生徒が安心して過ごすことができる校内教育支援センターなどの居場所の整備
- 新たな不登校を生まない取組の研究
- 相談から個々の状態に応じた支援までをワンストップでつなぐ支援体制の強化

【施策3】 オール長岡で部活動地域移行を推進

学校教育の一環として行われてきた中学校の部活動に替わる新たなスポーツ・文化芸術活動の環境を整備する。

- 令和7年9月からの地域クラブ創設を目指した推進体制の構築や効率的な運用システムの検討
- 子どもたちの多種多様な希望に応じる活動環境の整備

【施策4】 発達など配慮が必要な子どもと保護者への切れ目のない支援体制の強化

早期段階から子どもにアプローチし、乳幼児期から就学後まで一貫した切れ目のない相談・支援体制の構築を図る。

- 保健・福祉・教育の関係者が一体となり支援できる組織体制の構築
- 学校・園などへのアウトリーチによる専門性の高い支援体制の構築

【施策3・5】 Edu-Diver 構想の推進

1人1台端末等を活用し、長岡独自の多様な学びのスタイルを推進する。

- 「自分に合った」「多様な関わりを生かす」「実体験を伴う活動的」学びの視点から授業イノベーションを実践
- 興味や関心に合わせた高度で多様な学びを実現する長岡教育情報プラットフォーム「こめぷら」を運用⇒別紙2

夢を描き志を立てて生き抜く力を育む



方策Ⅰ 確かな学びを実現する学校・園づくり

教育環境を充実し確かな学力の育成を図る事業

- アシスタントティーチャーの配置
- ホノルルオンライン平和学習
- 学校・子どもかがやき塾
- 学校司書配置事業

教職員・保育士の資質・指導力の向上を図る事業

- 研修講座
- 教員サポート錬成塾
- 公立・私立保育園等合同研修会
- 発達支援研修会

方策Ⅱ 子どもの個性・可能性を伸ばす学びの場づくり

連続して継続的に能力を伸ばす事業

- 小・中学生ロボコン教室
- 科学探究塾
- ミライエクリエイティブキッズ
- 米百俵未来塾

方策Ⅲ 子どもが熱中・感動する豊かで多様な体験づくり

自然・科学体験事業

- ジョイフル里山木工塾
- プログラミング教育推進事業

スポーツ体験事業

- ふれあいスポーツアシスタント派遣事業
- こどもスポーツチャレンジ事業

芸術・文化体験事業

- 未来を描く書道体験教室
- 夢づくり工房

地域体験事業

- ようこそ「まちの先生」事業
- 縄文出前授業・体験学習

社会体験事業

- 未来の防災リーダー育成事業
- ワールドリーダーズセミナー

方策Ⅳ 子どもの育ちをしっかりと支える土台づくり

子育て・幼児教育を支援する事業

- 子育ての駅運営事業
- 子育て支援講座

家庭教育を支援する事業

- 就学時家庭教育講座
- 児童館（児童クラブ）食育プログラム

オール長岡で実施する、子どものやる気や学ぶ意欲を引き出す4つの方法

Edu-Diver[※] 構想

GIGAスクールを実現！
ICTを活用した長岡独自の教育体制

別紙 2

一人ひとりの子どもに最適な学びを保障

※Edu-Diver：教育（Education）と多様性（Diversity）を組み合わせた名称



※ タブレット端末の活用にあたっては、児童 生徒の情報リテラシーや健康面への影響等にも十分配慮しながら進めていきます。